

タナトスの ギャグ

大本正

タナトスのような邪悪な人々は笑い飛ばすに限る。ということでギャグを考えたいと思います。基本的にネット上で画像を探し、切り抜き、縮小以外、画像に手を加えず、見つけた画像のよさを活かしていく、どう活かすか？というのがギャグのテーマである。※不定期。

ギャグその1「レストランにて」



「おい、オレのスープに毛が入ってたぞ。どういふことだ。説明してくれ」



「何だときさま！ふざけるな！オレの毛なわけねえだろ！」

ギャグその2「無題」



記者「あのうグretaさん、どうか質問にお答えください」



記者「もしもし！グretaさん！もしもし！もしもし！」



グreta「誰が消しゴムじゃごるああ！おまえいっぺん消したろか！？」

記者「のかった・・・」

ギャグその3「オバマ氏の秘密」



オバマ氏「オレは過去にうんこを漏らしたことがある。今も我慢している。いや、漏らしたことはばれていない。ていうか、話題を変えてくれ」

ギャグその4「厳しい教師」

体育教師「おれは前の学校で鬼として知られた男だ。ふざけたやつは有無を言わさずしごく」

生徒A「先生、トイレに行きたいんですけど」

体育教師「なに？がまんしろ！文句あるか？」



生徒B「先生、ぼくもトイレに行きたいんですけど」

体育教師「どうぞ」

ギャグその5「職質」

警察「もしもしすいません。この辺にテロリストが逃げてきませんでしたか？」



「いえ知りません。見たこともありません」

警察「おまえだろ」



「どういことですか？何でぼくがテロリストなんですか？おまわりさん！ぼくをよく見てください！」

警察「絶対おまえだ」

ギャグその6「令和」

記者「すが先生、クイズです。もし令和が今年で終わったらどうなりますか？」



先生「いや、誰が零話だ？」



二階先生「あのう、すいません。誰かぼくの財布知りませんか？」
背後の人物「・・・・・・・・」



「おい！てめえらいいかげんにしろ！タラちゃんて呼ぶな！タラさんて呼べ！年上だろ！」



オバマ死刑囚「はい、もしもし、もしもし。トランプ大統領？あれ？何も聞こえないな。そうか。何も聞こえないということは処刑は中止ということでもいいんだな？たぶん。いやあ、よかった、よかった。おかげでもうちょっと長く生きられそうだ。神よ、感謝します」

トランプ大統領「受話器反対だろ」

ギャグその１０「怒り」



グレタ「ああ気持ちいい」

記者「グレタさん、気持ちよさそうですね。ただ、寄航したときにヨットの下から死体が出ない
といいですね」



グレタ「誰が『太陽がいっぱい』じゃごるうあああ！！おまえいっぺん沈めたるか??」

記者「のかったた...」



「じゃ、じゃ、じゃんけん、うぐ、ポン。三日三晩ぶっ続けでじゃんけん大会・・・」

ギャグその１２「そこに柵があるから」



ファン・グアイド氏「おまえらいいかげんにしろよ！誰が『不安なガイド』だ？ちくしょう！今
おれがどこにいるかわかってんだろうな？わからねえじゃねえ！おれがどこにいるかさがせごる
ああ！！オレ今どこだ？？」

ギャグその１３「シンプルなやつ」



「なんだと？てめえ・・・あんなシンプルなやつと一緒にするな」



※シンプルなやつ



群集「カツオはもう馴染んだ！しかしいくらちゃんの声を変えたことは許せん！！あの人じゃなきゃダメなんだ！ばぶーしか言わないからごまかせると思ってんのか！？おれたちは騙せねえぞ！」



警官隊「くそ！何言ってるんだあいつらは？いくらちゃんの声はまだ変わってねえぞ！マスオさんと勘違いしてんじゃねえか??」

二ヵ月後・・・



群集「カツオはもう馴染んだ！しかしいくらちゃんの声を変えたことは許せん！！あの人じゃなきゃダメなんだ！ばぶーしか言わないからごまかせるとしてんのか！？おれたちは騙せねえぞ！」



警官A「くそ！あいつらまだ同じこと言ってるぞ！どうなってるんだ！？怖すぎるな・・・」

警官B「おい。おれ、何か、ここまできるとあいつらが正しいんじゃないかと思えてきたよ」

警官A「なに？」

警官B「おれたちが知らない間に、実際にいくらちゃんの声は変えられたんじゃないか？いくらちゃんはばぶーしか言わないからぜんぜん違いがわからないけどさ。あいつらにはきっとわかるんだよ。おれたちにはわからないだけで。

例えばさ、どう考えても波平の声は前と違うだろ？あんなに声が違えば、サザエさんにしてみれば実の親と里親くらいの違いだと思うんだよ。ただ、波平は変えたと報告されたからいいんだよ。しかし、もしもだよ。どう考えても声が違うのに何の報告もナシに誰だか知らないヒトの声をきいて波平の声だと認めろなんて強制されたらどうする？そりゃないよ。もしいくらちゃんじゃなくて波平の声を巡って陰謀が起きていたら、今よりもっとたくさんの群集が街に繰り出していたかもしれない。そう考えるとなんだか怖いよな。恐ろしいことだよ。日曜日の夕方が台無しだからな！」

警官A「どうでもいいわ」

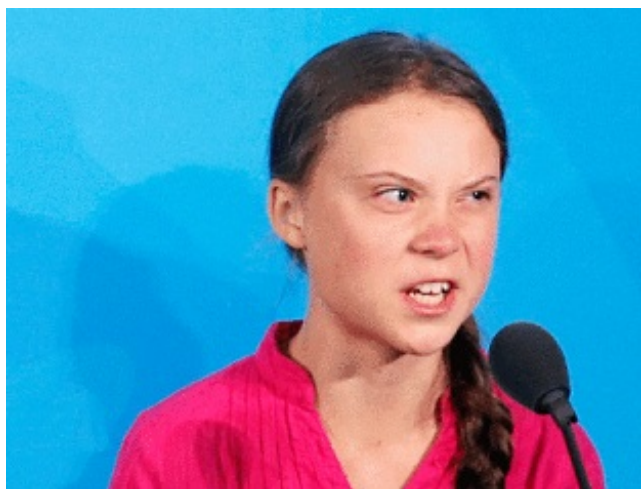
ギャグその１６「祝福」

記者「グレタさん、受賞おめでとうございます！ぼく、絶対グレタさんが受賞すると思ってました！」



グレタ「ありがとう」

記者「ほんと、今年こそ受賞するんじゃないかと思ってました。アカデミー主演女優賞、どうもおめでとうございます！」



グレタ「誰が役者じゃごるああ！いつもいつもおかしいこと言いやがって！おまえいっぺん・・・」



グレタ「今日は浮かべへんわ・・・」



オバマ「みんな！ここにあったよ！コンタクト」

ギャグその１８「おまえどこの中学だ？」



麻生先生「おい、おまえどこの中学だ？おれか？おれは都立第一中で番はってるもんだ。ナメてるとがっこんがっこん言わすぞ。わかったか？あ、違うわ。オレ副首相だった」

背後の人「・・・・・・・・・・」



安倍首相「あ、オレか」

聴衆「爆笑」



安倍首相「以上」

記者団「総理、どうもありがとうございました！」

聴衆「・・・・・・・・・・怖い」



フアン・グアイド氏「ヘイ！レッツロックンロール！いや、違うわ！ぜんぜん違う！オーケストラの指揮者でもねえ！いいかげんにしろよおまえら！ジェスチャーゲームやってんじゃねえんだ！」



安倍首相「いや！おかしいだろ！おまえら最初はグーだって言ったじゃねえか！パー出して何でオレが負けてんだよ！どう考えてもおかしいだろ！もう一回だ！もう一回！おかしいやつらだぜったくよおお！」



ヒラリー女史「うっひゃひゃあああ」

クリントン氏「ピーピーピー！！（ちょっと待て、おれは黒木香か？）」

背後の金髪女性「ふん、そうよ。山田くんはオチに使われることもあるのよ。ただ座布団運んで
るだけの人じゃないんだから。そんなことも知らなかったわけ？」

背後の黒人男性「しかしこの夫婦の顔だけ見てたら何の番組見てるか不明だな」



上段右から

サンダース氏「みなさん、聞いてください！重要なことです。香港デモはでたらめです。詭弁にもほどがある！いくらちゃんはバブーだけじゃない。ハーイと言うこともあるんです！」

右から2人「何だと？知らなかったな。なぜ香港の学生はその事実を隠蔽しているんだ？何か都合の悪いことでもあるのか？はっきりさせるべきだ！」

右から3人「あのうオレ誰？」

右から4人「ちょっと待ておっさん！そんなことよりいくらちゃんて誰だよ？」

右から5人「いくらちゃんは50年前からTVに出てる人よ。ずっと赤ちゃんだけど」

下段左から

左から1人「どんなやつだよ！？てかNEWS邪魔！」

バイデン氏「おれをクリーピーアングルジョーて言うやつは殺す」

左から3人「なんだか混乱してるわね」

左から4人「独り言（ちょっとまて。いくらちゃんがたまにチャーンて言うことを知っているのは俺だけか？）」

左から5人「クリーピーアングルジョー」



ブッシュ氏「ああ、１０ドルだけでここまで親しい芝居してくれるなんてうれしいよ。たくさんの黒人有権者の喜ぶ顔が見えるよ」

黒人女性「１０ドルジャンボジャンボ」

背後の女性A「わたしえいごわかるすこし」

背後の女性B「あのひとじごくおちるね・・・」

背後の女性C「べつに１０ドルほしいわけじゃないね」



安倍氏「ええ、トランプ大統領が背後にいて丸でわたくしが逮捕されたような絵面ですが、まだ
かろうじて逮捕されていません。そこだけは、そこだけは何卒ご理解いただきたい。ここで一
句『人は戦わなければならなくなった時、初めて自分が孤独だということを知る』ありがとうございました」

トランプ大統領「・・・・・・・・・・」

お断り：トランプ大統領、申し訳ないですが、面白い画像なので使わせていただきました。



プーチン大統領「バカ（それじゃあまたな）」

安倍氏「うう、何でだろう。確証はないが、プーチン大統領と別れるたびにバカにされているような気が・・・」

※「バカ」はロシア語で「じゃあな」を意味する。

お断り：プーチン大統領、申し訳ないですが、面白い画像なので使わせていただきました。



ボノ「えっと、これからこいつブン殴りまーす」

ブッシュ氏「ホ、ホワイ？」



記者「ああ、そういえばにゃんか最近メリハリがないな・・・（画像はイメージ）」



記者「おや、グレタさんおひさしぶりです。どうしたんですかこんなところで？何か落とし物ですか？」



グレタ「はい。財布落としちゃったんです。みなさ〜ん、皆さんもどうかわたしの財布を捜すの手伝ってくださ〜い」



グレタ「誰が財布落とした人じゃござるあああ。おまえいっぺん地獄に落としたるか？」



記者「これだわん！このメリハリが欲しかったんだよ！（画像はイメージ）」



麻生氏「日本は島国であるため日本人は世界と海で隔てられていると考えがちである。しかし、古代の日本人は、日本が海で世界とつながっていると考えていた」

背後の官僚「ふむ、まともなと言われると逆に頭が心配になるな・・・」



官僚「え〜と、動かすボタンはここだったかな？」

麻生氏「おいこら、誰がからくり人形だ？」



上段左から

バイデン氏「おれをクリーピーアングルジョーと呼ぶやつは殺す」

左から2人「ちょ、このおっさんアブねえな、まだ同じこと言ってるよ・・・」

左から3人「ねえ、ほんとにいくらちゃんてチャーンて言うの？誰か目撃した方いらっしゃいます？」

左から4人「何よチャーンて、こん平じゃねえんだしw へらへら」

下段右から

右から1人「だっ、誰がこん平だよ？オレぜんぜん似てねえだろ（おどおど）」

右から2人「みなさんほんとうに知らないんですか？いくらちゃんがチャーンて言うことを？じゃ、あれはオレにしか聞こえてなかったのか？」

サンダース氏「あのう、看護師さん、昼飯まだですか？」

右から4人「クリーピーアングルジョー」



バグダディ氏「何？オレが誰に似てるって？達磨？誰だそりゃ？手と足がない人だと？ナメとんかごるああ！え？勘違い？ほんとうはリーチマイケルに似てる？誰だよそれ？てめえ！ぜんぜん知らねえやつと一緒にディスってんじゃねえよ！！」

ギャグその34「見てはいけないもの」



目撃者A「うっ、こ、これは・・・こういう怖さはいらないと思うんだけど・・・」

目撃者B「あの顔に至る過程がわからんな・・・」

ギャグその35 「あの人に名言を言わせてみよう③」



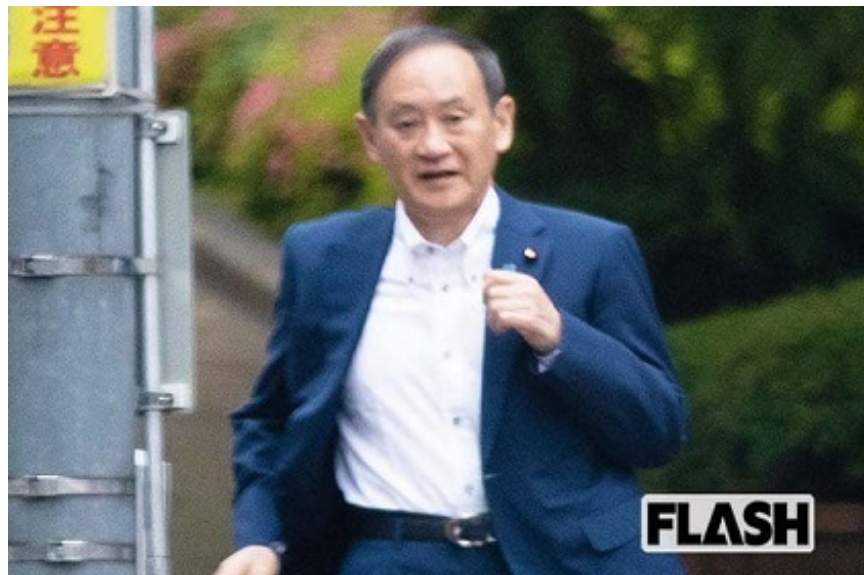
小浜氏「真の自由とは、何もかも自分の思い通りにすることではない。真の自由とは、他人の自由を尊重することだ」



小浜氏「そ、そんなひどいこと言うなよ。俺が一番他人の自由を尊重してないなんて・・・ホントだけど」

ギャグその36「CM」

記者「先生！お元気ですね！あのCMみたいです！」



菅先生「こ●じゅん飲んでねえわ！」

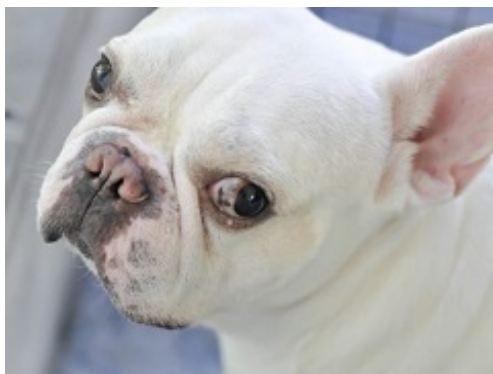


先生「はい。では、 $1 + 1$ がわかる人、手を挙げなさい（イメージ画像）」



ヒトラー「はい！ええと、 2.5 ？」

ムッソリーニ「はい！わかりません」



先生「あのね、ムッソリーニくん。わからない場合は手を上げなくてもいいのよ。わかったかな？あと、ヒトラーくん、惜しいわね。答えは2よ。なぜ小数点がついたのかな？まだ習ってないでしょ。わざとだったらもうしないように（イメージ画像）」

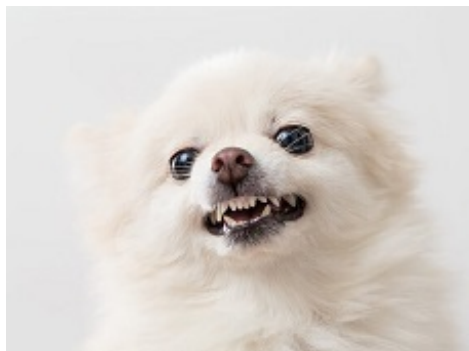


先生「はい、では次の問題です。１８５９７６かける３０６０７８９４７４３は？」



ヒトラー「ぜったいわからんわ。てか先生、俺たちが嫌いなんじゃないの？」

ムッソリーニ「はい！わかりません」



先生「あのね、だから何回言えばいいの！ムッソリーニくん！わからなければ手を挙げなくていいの！逆さ吊りにするわよ！ヒトラーくんはわからないからって人のせいにして南米に逃げないこと！わかりましたか？（イメージ画像）」



トランプ大統領「何だと？オレの隣に老人がいる？どこだ？何？俺を見てるだと？おい！早く何とかしろ！」

お断り：トランプ大統領、申し訳ないですが、面白い画像なので使わせていただきました。



ヒトラー「ねえ見て見て。ぜんぜん髪が垂れてこないよ。すごいでしょ」
背後の人物「・・・・・・・・・・・・・・・・」



ヒムラー「あ、ボーイさん。明朝8時きっかりに起こしてくれないか。そのときはトーストとコーヒーを頼む。コーヒーはブラックで」

ボーイ「無理だろ」



ダライラマ「わけあって名乗ることはできないが今ほんとうに困っています。どうか１０００円貸していただけませんか？１０００円だけ、１０００円だけでいいんです。どうかお願いします」

聾啞者の男「やだ。例えあんたがダライラマだったとしてもやだ」

ダライラマ「・・・・・・・・・・」



ヒトラー「うがああああああああ！ぐぐぐ、かはあ！はあはあ・・・こ、小骨が刺さりやがった・・・」



ブレア「おい見ろよ！ＵＦＯだぜ！すげえな。世の中にはＵＦＯが見える人と見えない人がいるというが、おまえ見えるか？悪いがちょっと今話しかけないでくれ。あの風景をこの目に焼き付けておきたいんだ。見逃したら一生の不覚だろ？ああ、これからおれなんかいいことがあるかも！」

男「ごまかすな。今すぐ金返せ。ないっていうなら財布の中にあるもんぜんぶよこせ。わかったか？」

ブレア「おーい！宇宙人さ〜ん！おれを連れて行ってくれ〜！」



マザーテレサ「真剣白羽取り！えい！あっ、早すぎた・・・」



ギャグその４６「悲愴」



司会者「それでは次の問題！クイズ、ドレミファドン！（画像はイメージ）」

♪（チャイコフスキーの交響曲第６番「悲愴」の第四楽章が流れている）



大川周明「イエスタデイ！いや間違えた。マイウェイ！」

東条英機「全部違うわ・・・」

係官「悲愴が似合うわこの人たち」



男「今日抱きます」

金未霊「今日抱かれます」

背後の男「・・・・・・・・わしゃわからんわ」



ヒトラー「あの、ジョージさん」

ロイド・ジョージ「何かね」

ヒトラー「後ろにいる人は誰ですか？」

ロイド・ジョージ「なに？あれは君の連れじゃないのかね？」

ヒトラー「違います。ジョージさんの連れだとばかり・・・あれは誰なんだろう？」

ロイド・ジョージ「わ、わしは君の連れだとばかり・・・」

ヒトラー「なんかあの人ぼくらより怖い顔してないですか？」

ロイド・ジョージ「うん、怖い。５人は確実に殺してるね」

背後の男「いや、おまえらには負けるわ」



坂口力先生「何だね君は？どうでもいいだろ！この髪型に名前なんかないよ！失敬だな君は！おい、ちょっと待て！勝手に名前付けるな！誰が海苔の不作だ??」



塾生「先生！お願いですから早く塾に帰ってきてください！みんな玉はじきながら待ってます！」

蔡英文「誰がそろばんの先生だ？」



オバマ「おい、誰だよ！オレのプリン食ったの？最後の一ヶだぞ！なに？よくある話だと？まあ、そうだよな。確かにプリンが食われる話は多いよな。なんでだろうな。、ごまかすな！」

ギャグその５２「どけ」



金未霊「おい邪魔だ。どけ老いぼれ」

老人「・・・・・・・・・・いや、わしらの方が年下じゃけん」

金未霊「・・・・は？」

男A「これ、スピittingイメーjで使った人形なんですよ。\$10でいかがですか」

男B「いらんわ」



ロックフェラー「あのう、オレ、人形じゃなくてホンモノなんだけど・・・いや、『しゃべるんだ』、ってあたりまえだろ。オレが腹話術の人形に見えるか??」

男A「どうです。ぼく腹話術うまいでしょ」

男B「うまいね、名人芸だね」

ロックフェラー「・・・・・・・・・・」



バイデン「おい！みんな今の見たか？見逃さなかっただろうな！」

オバマ「見ました！見ました！ぼくも見ました！いや、聴きましたというべきか！音出てなかったですよ！タラちゃんが走ったのに」

ヒラリー「非常にレアな映像ね。50年の歴史の中でもなかったことじゃないかしら」

男A「しかしあの音がないとタラちゃんて感じがしないな。こりゃあしたの月曜日はこの話題で持ちきりだな」

バイデン「そういえば浜さんはどうした？気づいたらイササカ先生に代わってただろ？日常であれやったら犯罪だぜ」

ヒラリー「そんなことよりワカメちゃんが将来グレないか心配だわ。てか、自分で言い出しといてなんだけどワカメちゃんの将来って何？」

男A「いや、わたくしはアナゴさんに根強い人気があることの方が解せない」

オバマ「ちょっと待て！てめえオレにケンカ売ってんのか？」

制服の男「・・・まじめにやれよおまえら」



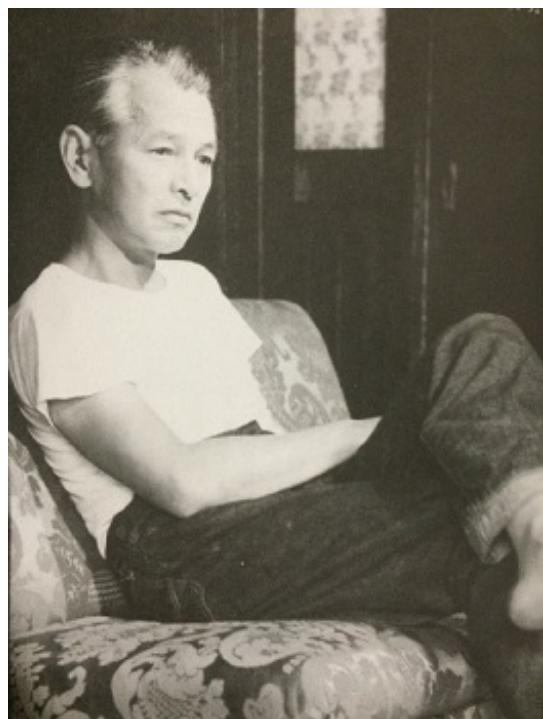
ラビアカーディル「あの、ちょっとやめてください。違います。私たちはお笑い本舗ではありません。え??いや、私たちが着ているのは民族衣装です。ウケを狙っているわけではありません。なぜそんなことをおっしゃるのか理解できません!やめてください」

ポークパイハット「(絶対オレのせいじゃない!)」

帽子の男「(オ、オレのせいかな・・・)」

白人男性「(何でオレここにいるの?)」

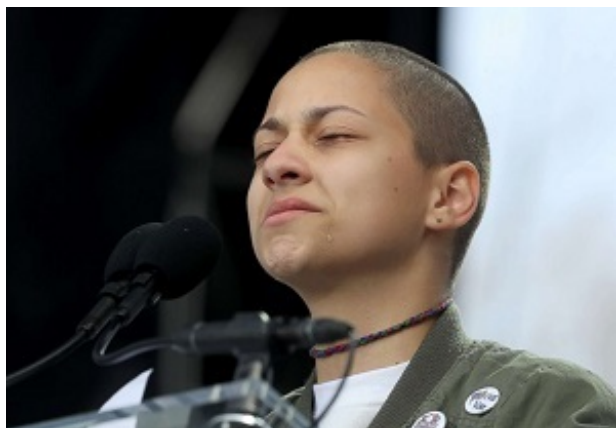
右の2人「(ほんとうにお願いしますよ座長。あ、間違えた)」



白洲次郎「ちっ、誰だよ、オレの上着盗んだやつ。何にしても動揺してるのを悟られてはならない。平常心平常心、と。いや、ダメだ。靴まで盗まれたから無理だ・・・」



土井たかこ「あ？誰がばばあだ？こら。いやいや、どうもありがとう。最近はねえ、通りすがりの子供たちにじじいとか言われるからばばあなんて逆にありがたいわ。ほんと、ばばあにはちゃんとばばあって言わないとね。どうもありがとうございます。、なことがあるかごるああ！」



エマ・ゴンザレス「や、野球部の中坊に間違われた・・・」



ビン・ラディン「ボーイさん、申しわけないがあした8時きっかりに起こしてくれないか。どうしても起きなきゃいけないんだ」

ボーイ「無理だろ」



女性「みなさん、新しいからくり人形が発売されました。良くご覧ください。人間そっくりでしょう。殴ると血が出ます」

ロックフェラー「頼むからもうやめてくれ」



安倍晋三「うがあああああああ！ぐおおおおおおおお！きえええええええ！」

ギャグその62「あの人に名言を言わせて見よう④」

男A「おい、この腹話術の人形どうする？おまえいるか？」

男B「こんなもんいらんわ。そこらへんに捨てよう」

男C「この粗大ゴミめ！」

男D「邪魔なんじゃ」

男E「死ね！」



岸信介「いいかげんにしろよおまえら。ここで一句。『どんなに洗ってもうんこは綺麗にならない』。」



麻生先生「二階さん、ちょっと確認したいことがあるんだが」

二階先生「うむ」

麻生先生「あれ？何言おうとしてたか忘れちゃった」

二階先生「ところであなたはどなたでしょうか？」

麻生先生「は？何言ってんだ、オレは・・・ええと、誰だっけ？」

二階先生「ちなみにわたくしは三階に住んでいるんだが」

麻生先生「あっそう」



女性記者「おい菅！バレねえように毎日1本ずつ毛植えてんじゃねえよ！毎日3本は抜けてんだから追いつかねえだろ！ひゃっはっは」

菅先生「おい！何だ君は？学級崩壊か？」

手話通訳士「・・・・・・・・学級崩壊??」



安倍「おい！人のおじいちゃんつかまえて腹話術の人形はねえだろ！このやろう！おじいちゃんに謝れ！！」

岸信介「ふふふ、優しい子だ（おかしいな、記者の人は何も言ってないんだが・・・）」



岸信介「寛信くんは大きくなったら何になるんだい？」

安倍寛信「ぼくインディアンになるんだ！インディアンウソつかない！」

安倍晋三「・・・・・・・・」



岸信介「この帽子、晋ちゃんによく似合うね～」

安倍晋三「ボケてんのかてめえは？ぶかぶかじゃねえか。ぶかぶかってことは似合ってねえってことだろうが！」

岸信介「・・・・」



岸信介「こらこら晋ちゃん、おもちゃ壊しちゃダメだよ。これお友だちのやつ借りてるんだろ？
あの子のこと大好きだって言ってたじゃないか」

安倍晋三「・・・・・・・・」

安倍洋子「・・・・・・・・」

安倍晋太郎「・・・・・・・・」



安倍晋三「お自慰さん。お自慰さんだお自慰さんだ。や〜いい」

岸信介「何だその漢字は？おまえいいかげんにしろよ」



岸良子「まあまあ晋ちゃんたら、おじいちゃん蹴ったらだめじゃない。ふふふ、しょうがない子ねえ」

安倍晋三「とお！死ね粗大ゴミ！おまえなんか用はないんじゃ！」

岸信介「はっはっは晋ちゃん（こ、こいつマジだ・・・）」



男A「先生が刺された！」

男B「早く病院へ運べ！」

男C「いったい犯人は誰なんだ??」

岸信介「し、晋三〜〜〜！！！」



ギンズバーグ「あのう看護師さん、うんこ漏れちゃったんだけど。あ、いや、たぶんだけど」



看護師「たぶんて何・・・（画像はイメージ）」



ビルゲイツ「うわっ！びっくりした！ゴキブリかと思ったじゃねえか！」



日枝「いやあ、素晴らしい夕食だった！今日は朝からいいことあるな～～！」

小泉「え？これランチじゃないの？」

背後の女性「あらあら、まだ何も出してないのにごきげんね」

森「ここどこ？」

右手だけの人「ちょっとまて。何でおれだけ右手なんだ？」

甘利「困みにおれはまだ入居していません。ただの訪問者です」

料理人「老人ホームじゃねえわ」



記者団「小泉元総理、今日はなぜわたくしたちを呼んだのでしょうか？」

小泉「うむ。ちょっとわからないことがあるんだ」

記者団「どのようなことでしょうか？」

小泉「ずっと考えてるんだが分からないんだ」

記者団「はい」

小泉「もしベッキーがバッキー木場と結婚したらベッキー木場になるのかな？」

記者団「・・・わたしたちにはわかりません」

細川「あの、バッキー木場って誰？」



東本願寺門主大谷暢裕先生「わたくしたちは現在、世界中の人たちに正体を知られ、まさに非常事態の危機である」



西本願寺門主大谷光淳先生「いったいどうしたらいいんだ？」



立憲民主党「おまえらが何とかしろ。ていうかおれら、おまえらを信じた被害者の会みたい

だな．．．．」

ギャグその78「ビシッ」



吉田茂「ビシッ！ぼくのギャグどうですか？」



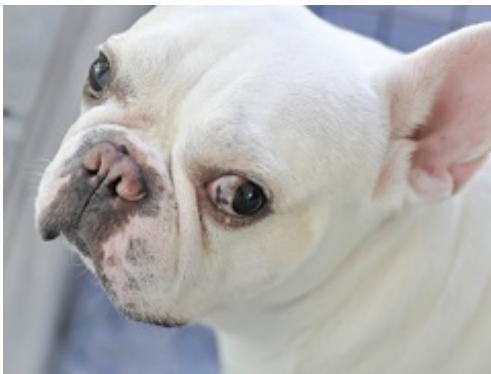
審査員「つ、つまらん」



教師「はい。では問題を出します。現在のベネズエラの大統領は誰でしょう？（画像はイメージ）」



フアン・グアイド「はい！ぼくです！」



教師「・・・ぜんぜん違います。罰として今日、放課後残りなさい。柵をよじのぼって逃げないように」



バイデン「絶対に許さん！俺の生え際がどこにあるか分かっていうやつは殺す！何？生え際あるかって？あるわ！なかったらおかしいだろ！」
背後の支援者「え？あるの？ないと思ってたわ・・・」



ビルゲイツ「うわあああ！地獄に落ちる！・・・あれ？夢か・・・マジにリアルだったな・・・」
話し相手「・・・・・・・・」



漫才師「どうもおばんです。ものすごい向かい風の強いところからきました」
相方桜井「たぶんほんとうです」



観客「・・・寝てるんだから起こさないでくれないか・・・」

ギャグその83「15日後に死ぬダニ①」



安倍晋三「パードレ！パー・・・夢か・・・この時期にパードレの夢を見るなんて不吉な・・・」



相談者「オバマ氏、相談があります」

オバマ「うむ、何かね」

相談者「もうかれこれ３０年ほど前のことなのですが」

オバマ「うむ」

相談者「TVでジェリー藤尾がスプーンを曲げた時のことですが、あれは超能力だったのでしょうか？」

オバマ「そんなもん誰も覚えてないだろ」

ポデスタ「あれは超能力じゃない！あれは単なる『筋力』だ！」

オバマ「え？覚えてんの??」



金未霊「ギブミーチョコレート！」

めがねの男「ギブミーチョコレート！」

桜井「ギブミーチョコレート！」

Tシャツの男性「ギブミー・・・何でやねん」

トランプ大統領「I wont give you no chocolate but I will give you more something special」

安倍晋三「・・・ジスイズアペン」

※お断り、トランプ大統領、申し訳ないですがおもしろい画像なので使わせていただきました。



安倍晋三「はっ！いま翁長知事がいたような・・・死んだはずなのに・・・気づいてないフリをしよう・・・」

列席者A「おい、安倍なにか見て見ぬフリしてないか？」

列席者B「いつものことだろ」

列席者C「おい、安倍なにかから逃げてるように見えないか？」

列席者D「いつものことだろ」

列席者E「あい、安倍何か怖いものに追われてるように見えないか？」

列席者F「・・・・・・・・」



舛添氏「なんか隣の人すごい見つめてくるな。食べられちゃいそうだ」



フィリップ「おや、おきれいな方だ。こんなわたくしと会話をお許しいただけますかな？」

エリザベス「あの、どなたですか？やめてください。わたくしには夫がおります」

フィリップ「ほほお、どのようなかたですか？」

エリザベス「それが、おぼえていません。もうだいぶまえに亡くなったのですが」

フィリップ「おれは霊か」



フィリップ「おや、おきれいな方だ。こんなわたくしと会話をお許しいただけますかな？」
エリザベス「デジャブか」

ギャグその90「15日後に死ぬダニ②」



水野氏「ああ、何か口内炎で口痛いし、しょんべんすると尿道痛いし、『100日後に死ぬわに』書いていながら俺が100日後まだ生きてられるか不安だよ」

きくち氏「おれなんてみぞおちに激痛が降臨することがあるぜ？う、ちょっと待つて。くるかも、くるかも、きたきた！うぐうう！！ぐああああ！！！」



「しゃしゃ〜」 (C) H・R・ギーガー

ギャグその９１「敗北の予感③」



安倍晋三「天国にいるパードレーーーー！！見て見て！ぼくはこんなに元気です！！」



フランコ将軍「おれは地獄にいるっつーの」

ギャグその９２「１５日後に死ぬダニ③」



♪BSワールドニュース



安倍晋三「おいまてまてまて～！BSのワールドニュースつけんじゃねえよ！！アメリカ軍出てんじゃねえか！！ああ、『三つ子の魂66まで』って書かれてつい動揺したのがいけなかった。『100日後に死ぬわに』を書くことを命じたものの、おれが100日後に生きているかどうかわからないとは！くそ、おれの歯ガタガタだな」



安倍晋太郎「おい、晋三はどこだ？おじいさんを見送るってときに晋三はどこにいったんだ？？」

安倍洋子「晋ちゃん、どこに行ったの？晋ちゃん？晋ちゃ〜ん！」

周囲の人「……………」



アナウンサー「コンドリーザ・ライス女史はお米が嫌いだそうです。いったいどういうことなのでしょう？解説していただきたいと思います」

ライス「いや、わたくしはお米好きなんですけど・・・でも、別に名前がライスだからお米が好きとか嫌いとか、そういう問題じゃないと思うわ。じゃあ、聞くけど、ブッシュ大統領は藪が好きなの？」

アナウンサー「一旦コマーシャルです」

ライス「あのなあ」

ギャグその９３「ばあん」



コリンパウエル「ばあん、いや、倒れろよ」

アナウンス「事務所に落とし物の財布が届けられています。財布の中にはyokoという12歳の日本人少女の写真が入ってありました。お心当たりの方は至急事務所にお越しください」



フランコ「あ、それオレだ」

ヒトラー「・・・独裁者なんだから財布持ってくんなよ」

背後の人「そこ？」

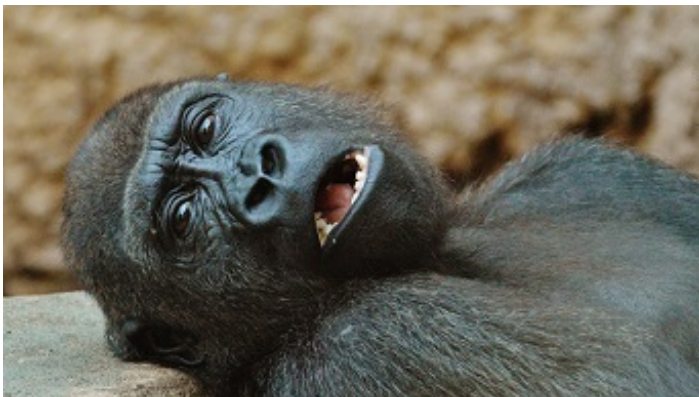
ギャグその97「算数」



先生「では問題を出します。2 - 1 は？（画像はイメージ）」



佐々井秀嶺「はい、1です」



先生「いやあ、さすが、インドで1億人の仏教信者を従えているだけにはあります・・・ちょっ

と寝ていいですか？（画像はイメージ）」



教師「では次の問題です。98－97は？（画像はイメージ）」



佐々井秀嶺「はい、1です」



白い服の少女「1しかわかんねえんじゃねえの？」

佐々井秀嶺「5もわかるよ。ほら」

黄色い服の少女「・・・・・・・・」



フアングアイド「あ、１００円落としちゃった。ちょっととらせて」

警備員「ウソつけ！議会には絶対に入れんぞ！！」

フアングアイド「ちくしょう！いいかげんにしろよおまえら！」



記者「さあ、ガイド氏がトップロープに上りました！ここからいったいどんなワザを繰り出す
というのか？」

フアングアイド「よっしゃ！ムーンサルトプレスきめたらあ！いや、プロレスやってんじゃね
えわ」



フアングアイド「ちょっとまで！いったいどういうことだ？降ろせ！おれは１００円拾おうとしてただけなんだ！」

警備員「ウソこけ！ここはベネズエラだ！１００円なんか落ちてるわけねえだろ！」

フアングアイド「うぐ、バレたか・・・」



菅「いや、うそじゃねえよ。こんな丸いでかい女がいたんだって！マジでバランスボールに手足が生えたのかと思ったわ。は？おれにしか見えてなかったんじゃねえかって？幻覚じゃねえわ！おれが幻覚見るようなやつに見えるか？」

話し相手「・・・・・・・・」



司会者「はい、では次のコーナー。写真を見てひとつ（画像はイメージ）」



加藤 勇相「いや、司会者さんすいません。あんたがいちばんおもしろいわ。がっはっは」
安倍 晋三「くっくっく」

背後の人「いや。何も浮かばないからって笑ってごまかすな。ちゃんと考えろ」

背後の人「・・・やる気ねえな」

左横の人「（おまえの顔だってけっこうおもしろいぞ。みんな口にしないだけで・・・）」

無然とした背後の人々「・・・・・・・・亡国の予兆か」

